

会員開発委員会 基本方針

テーマ 「 思いやり～相手の為に～ 」

会員開発委員会 委員長 大塚 慶之
副委員長 藤本 正昭
研修担当理事 勝連 俊輔

52年間、我々厚木青年会議所は地域に根づいた運動を展開し、自ら率先して行動の出来る青年経済人へと成長をし続けてきました。厚木青年会議所が今後もこの地域に必要な青年経済人へ、さらには人として成長をし続けるには友情と資質向上が必須であり、その為にはメンバー一人ひとりが関わる全ての方々へ思いやりをもち接し、青年会議所運動を展開して行くことが必要不可欠であると考えます。

当委員会が行う例会では主に厚木青年会議所の、メンバー、新入会員が青年経済人として必要な人間関係の構築、即ち友情を深めて行かなければなりません。例会を通して、交流の場から人への気遣いや相手の立場に立って考える事、思いやりと言う心遣いを理解する事で会員同士の友情を深める事を目的とし青年会議所活動をより良い環境の中で活動する事が出来る為の場を提供して参ります。研修事業では厚木青年会議所が地域にとって必要不可欠な団体である為にも、会員全員の資質向上を計る事を目的とし、研修を通し、メンバー一人ひとりが青年経済人として必要な礼節を学び、会員全員が厚木青年会議所と言う団体である事の責任を自覚し、自ら率先して行動することにより会員の自己成長へと繋げて参ります。

会員開発委員会ではメンバー、新入会員、そして地域と厚木青年会議所に携わる全ての方々へ思いやりと言う言葉を忘れることなく接し、自ら率先して行動の出来る青年経済人へと成長する事の出来る運動を展開して参ります。

〔事業計画〕

1. 2月例会の開催
2. じゃがいもコンペの開催
3. 6月研修事業
4. 10月例会の開催
5. 12月卒業例会懇親会の開催
6. 3分間スピーチの実施
7. 正会員、賛助会員の拡大

8. 各種大会、他会議体、他委員会事業への積極参加および協力
9. 会員開発委員会運営規定（1）～（6）